

2014年1月15日 発

報道関係者各位

学校法人東北学院 法人事務局広報部広報課
〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋1-3-1
電話: 022-264-6423 / E-Mail: koho@tohoku-gakuin.ac.jp

1月25日(土)開催 東北学院大学主催 第4回・フォーラム 「仙台湾/海岸エコトーンの復興を考える」 取材のお願い

東北学院大学教養学部地域構想学科教員グループは、2011年4月以降、東京情報大学や地元研究者・専門家と協働しながら、仙台市南蒲生の被災地で調査を進めています。その結果を広く公開し、調査活動の評価、さらには復興支援に向けた今後の活動のあり方を議論するフォーラムを、これまで3回にわたって開催しています。この度、第4回となるフォーラム「仙台湾/海岸エコトーンの復興を考える」を、東北学院大学・東京情報大学とともに開催することになりました。

つきましては、本フォーラムの取材をお願いいたします。

第4回・フォーラム「仙台湾/海岸エコトーンの復興を考える」

—「ふるさとの浜辺復興、こうしたい」を分かち合う—
仙台湾/海岸エコトーンの復興を考える 第4回・フォーラム

開催日時：2014年1月25日(土)、13:00～16:30 【開場12:30】

開催場所：東北学院大学土樋キャンパス 8号館5階・押川記念ホール

※駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。

【参加無料、事前申し込み不要】

サイトURL: <https://sites.google.com/site/ecotonesendai/>

主催／「フォーラム 仙台湾/海岸エコトーンの復興を考える」実行委員会、
東北学院大学、東京情報大学

後援：南蒲生/砂浜海岸エコトーンモニタリングネットワーク、蒲生を守る会、
日本雁を保護する会、仙台湾の水鳥を守る会、宮城昆虫地理研究会、宮城植物の会、
緑を守り育てる宮城県連絡会議、日本自然保護協会、日本景観生態学会、
自然環境復元学会、東北学院大学災害ボランティアステーション

【本件に関するお問い合わせ】

連絡先：平吹喜彦 022-773-3706
富田瑞樹 043-236-1290

当日プログラム

1. 開催趣旨説明
平吹喜彦(東北学院大学)
2. 基調講演
鈴木孝男(東北大学大学院生命科学研究科)
仙台湾南部海岸の自然環境特性と大震災後の変遷
3. 話題提供
 - (1) 鳥の目からみた地域の復興と景観再生の課題
原慶太郎・趙憶・富田瑞樹(東京情報大学)・
平泉秀樹(ラムサールネットワーク日本)・平吹喜彦(東北学院大学)
 - (2) 自然環境と災害復旧工事の1000日
中嶋順一(仙台湾の水鳥を守る会)
 - (3) 砂丘生態系の復元にむけて ―砂浜植物の増殖と導入―
鈴木玲(手稲さと川探検隊・雪印種苗)・
佐藤修・大塚隆久(緑を守り育てる宮城県連絡会議)
 - (4) 低頻度・大規模攪乱後の海岸林モニタリングから見えてきたこと
富田瑞樹(東京情報大学)・南蒲生 / 砂浜海岸エコトーンモニタリング
ネットワーク
 - (5) 今こそ、行政・市民協働による「ふるさとの浜辺復興」を
平吹喜彦(東北学院大学)
4. 討論・総括 モデレーター
熊谷佳二(蒲生を守る会)・原慶太郎(東京情報大学)

本フォーラムは、平成25年度震災に関わる学長研究助成金(東北学院大学)、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業S1103002、JSPS科研費24510332・24810024・25830153の支援を受けて実施するものです。

【本件に関するお問い合わせ】

連絡先：平吹喜彦 022-773-3706
富田瑞樹 043-236-1290

主催者からのメッセージ

東日本大震災から1000日あまり……ふるさとの浜辺・仙台湾岸では、野生動植物や生息環境がよみがえり、クロマツが次々と芽生え、そして干潟や潟湖、砂丘、海岸林のそれぞれに、「そこにしかない生態系」が戻り始めています。急ピッチで、広域的に進む海岸防災林の盛り土、農地整備、防潮堤・堰堤工事、さらには次に続く海岸公園や嵩上げ道路、まちづくりといった大規模工事とのかかわりの中で、「ふるさとの自然や景観の核心を構成する、多様な生きもの・生育環境・生態系」は、私たちの希望である「未来世代」へと受け継がれてゆくのでしょうか？

このフォーラムでは、仙台湾岸南部で自然環境の調査・保全活動を続けてきた方々から、現場に軸足を置いた報告をいただき、そして市民・行政・企業・専門家の垣根を越えて、情報・想い・意見を分かちあいます。



これまでのフォーラムの様子



【本件に関するお問い合わせ】

連絡先：平吹喜彦 022-773-3706
富田瑞樹 043-236-1290

仙台湾/海岸エコトーンの復興を考える

—「ふるさとの浜辺復興、こうしたい」を分かち合う—



1. 開催趣旨説明 平吹喜彦(東北学院大学)

2. 基調講演

仙台湾南部海岸の自然環境特性と大震災後の変遷
鈴木孝男(東北大学大学院生命科学研究科)

3. 話題提供

- (1) 鳥の目からみた地域の復興と景観再生の課題
原慶太郎・趙憶・富田瑞樹(東京情報大学)・
平泉秀樹(ラムサールネットワーク日本)・平吹喜彦(東北学院大学)
- (2) 自然環境と災害復旧工事の1000日
中嶋順一(仙台湾の水鳥を守る会)
- (3) 砂丘生態系の復元にむけて —砂浜植物の増殖と導入—
鈴木玲(手稲さと川探検隊・雪印種苗)・
佐藤修・大塚隆久(緑を守り育てる宮城県連絡会議)
- (4) 低頻度・大規模攪乱後の海岸林モニタリングから見えてきたこと
富田瑞樹(東京情報大学)・南蒲生/砂浜海岸エコトーンモニタリングネットワーク
- (5) 今こそ、行政・市民協働による「ふるさとの浜辺復興」を
平吹喜彦(東北学院大学)

4. 討論・総括 モデレーター:熊谷佳二(蒲生を守る会)・原慶太郎(東京情報大学)



《アクセス》
【電車】
JR「仙台駅」から徒歩20分
地下鉄「五橋駅」から徒歩5分
地下鉄「愛宕橋駅」から徒歩5分
【バス】
バス停「仙台市立病院」から徒歩5分

2014年1月25日(土)

13:00~16:30(開場12:30)

東北学院大学
土樋キャンパス 8号館・押川記念ホール

参加無料, 事前申し込み不要

連絡先: 平吹喜彦 022-773-3706, 富田瑞樹 043-236-1290

主催:「フォーラム 仙台湾/海岸エコトーンの復興を考える」実行委員会,
東北学院大学, 東京情報大学
後援: 南蒲生/砂浜海岸エコトーンモニタリングネットワーク, 蒲生を守る会,
日本雁を保護する会, 仙台湾の水鳥を守る会, 宮城昆虫地理研究会,
宮城植物の会, 緑を守り育てる宮城県連絡会議, 日本自然保護協会,
日本景観生態学会, 自然環境復元学会, 東北学院大学災害ボランティア
ステーション

URL: <https://sites.google.com/site/ecotonesendai/>